

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

歯科用コーンビーム CT 画像の画質と根管形態の検出精度の評価に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学歯科病院にて 2020 年 4 月 6 日以前に抜歯された方

昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門にて、抜歯された方の個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し保管されているヒト抜去歯（上顎小臼歯）を使用する予定です。

2. 研究目的・方法

歯科用コーンビーム CT（以下「CBCT」）は、歯内治療に有用な検査法ですが、CBCT はエックス線を使用する検査法であり患者さんに被曝が発生するため、撮影を行う場合は検査の必要性について十分に吟味する必要があります。一方、CBCT 画像の画質は撮影条件によって変化し、一般的には被曝量が少なくなれば画質も低下してしまいます。画質が低下し臨床上有用な画像とならなければ撮影の目的を達成することができなくなってしまいます。

その対応策として、画像を観察する際の条件によって CBCT 画像の画質調整を行うことが可能であるため、本研究では被曝量を抑えつつ最適な画像を得るための条件について、抜去歯を用いて評価を行います。

研究期間

「昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会」承認後、昭和大学歯科病院病院長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和大学歯科病院にて抜歯された後、昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門にて、抜歯された

方の個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、保管されているヒト抜去歯（上顎小臼歯）を使用する予定です。

抜歯後1か月経過したな場合は抜去歯は研究のため個人を特定できないような状態になります。その後はお申し出があった場合でも、あなたの歯を特定することができませんので、ご了承下さい。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門

研究責任者：浦羽 真太郎

住所：大田区北千束2-1-1

電話番号：03-3787-1151（内線）247